

ねらい

インクの透明感のある美しさや色の魅力を感じ、色の微妙な変化や3色から無数に色を創り出す楽しさを存分に味わう。

様々な色に名前があることを知り、より繊細に色を感じ取ろうとする。

小学校教育へのつながり

- ・3歳児や4歳児から絵具での色遊びを経験してきている。色の濃淡、混色の多様性や微妙な違いの気付きを楽しめる5歳児ならではの色水遊びを経験することで、試行錯誤しながら自分なりのめあてに向かう楽しさや粘り強さ、豊かな感性、思考力の芽生えを培っていく。

準備物、環境

インク(赤青黄の3原色)を薄めた液、理科実験用で微量ずつ液を出せる丸型洗浄瓶(250ml)、スポイト、小さいスプーン、マドラー、たくさん色水をつくれるように透明カップ(70ml、60ml)を200個、防水のためラミネートした伝統色一覧表、色が見やすい・わかりやすいようにテーブルクロス(白)をかぶせた机。

実践内容



いろんなきれいな色
ができた!

自立心

豊かな感性と表現



伝統色一覧表



明るいところでは
違って見える



思考力の芽生え

この色(伝統色一覧表)
と似ている

保育を振り返って

透明度が高く、美しさを感じ、「きれいな色をもっとつくりたい!」という思いから、さらに色を混ぜてつくっていった。少量ずつ加える色により、変わる色の違いや偶然できた色などから、なぜこのようになるのかを考えたり、友達と同じ色に挑戦してもうまうまなくて、その時々で考え、試行錯誤しながらも解決に向かったりする姿が見られた。様々な色の美しさを感じ、遊びを通して色への興味や感覚が高まっていった。